

### 第三回 東京民医連と東京保健会・協立医師協同組合の取引先との懇談会を開催

東京民医連 石川 徹会長が「いのちの格差を是正する民医連の提言」の講演

東京民医連、東京保健会（病体生理研究所）、協立医師共同組合主催による3回目の「薬剤・医材関連メーカー・業者」の方々との懇談会を11月20日に行いました。懇談会の目的は、日常の民医連の様々な活動や、医療・介護の複雑な制度、患者・利用者の状況などを紹介し、民医連を理解していただき、300近いメーカーや業者との交流や懇談をすすめることです。今回は「いのちの格差を是正する民医連の提言」について石川 徹会長が講演を行い、関連する業者の方々86事業者、106名の参加、職員も含め127名の参加があり2時間の講演と懇談を行いました。石川会長の講演後の懇談では、「民医連として地域住民の健康づくりへの関与」「医療の消費税の仕組み」「混合診療に関する民医連の立場」などフロアより活発な質問が出され、石川会長からは健康づくりと共同組織の関係、消費税と社会保障、診療報酬や医療政策にまで踏み込み、説明をしました。今回の懇談会を終え、「民医連の活動が理解できました」「継続して開催いていただきたい」「当社としてできることは良質な薬を安価で入れることです」「もう少し懇談がしたい」「製薬会社として私たちに何ができるかということを考えながら講演を聞いていました」「少しでも多くの人に聞いて頂きたい講演です」など、70人からのアンケートも寄せられました。今後も民医連の紹介や考え方を、メーカーや業者の方々との懇談を通し広げていきたいと考えています。

協立医師協同組合 土井周次

